

令和6年度 指定管理者年度評価シート

1 基本情報

施設名称	大阪産業創造館
施設所管課・担当	経済戦略局産業振興部企業支援課（担当：赤松・奥）
条例上の設置目的	大阪産業創造館は、中小企業の創造的な事業活動を支援し、創業を促進するとともに、その経営基盤の強化を図ることにより、中小企業を総合的に支援し、もって大阪市の産業の発展と地域経済の活性化に寄与することを目的とする。
業務の概要	・施設管理運営業務 施設・設備の維持管理及び安全管理を行うとともに、適切な施設運営及び利用促進、利用者サービスの向上に努める。 ・中小企業支援事業に関する業務 中小企業基本法（昭和38年法律第154号）第2条第1項各号のいずれかに該当する者若しくは同条に掲げる事業を営もうとする創業希望者（以下、「中小企業等」という。）に対し、経営に関する課題解決や情報発信、知識習得機会の提供、販路開拓、創業等の支援事業を各事業の有機的な連携のもと、大阪産業創造館を活用して総合的に実施する。
成果指標	利用者満足度／施設稼働率
数値目標	95％以上／75％以上
指定管理者名	公益財団法人 大阪産業局
指定期間	令和2年4月1日～令和7年3月31日
評価対象期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日

2 管理運営の成果・実績

成果指標	利用者満足度	施設稼働率
数値目標	95％以上	75％以上
年度実績	97.1%	60.9%
達成率	102.2%	81.2%

利用状況

	当年度	前年度	前年度比
利用人数	208,511	195,447	13,064
稼働率	60.9%	60.6%	0.3%

3 収支状況

収入		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
業務代行料	実績	849,835,075	839,552,006	0	
	計画	849,835,075	839,552,006		
利用料金収入	実績	60,972,050	70,917,440	10,632,450	各種セミナー等の参加者が、計画時の想定を上回ったことによる増
	計画	50,339,600	62,000,000		
その他収入 （自主事業収入）	実績	6,493,400	7,055,300	-461,800	設備設置サービスの利用が計画時の見込みを下回ったことによる減
	計画	6,955,200	6,307,100		
合計	実績	917,300,525	917,524,746	10,170,650	
	計画	907,129,875	907,859,106		

支出		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
人件費	実績	325,067,570	290,270,362	33,467,570	中小企業支援事業の利用者増に伴う人件費の増
	計画	291,600,000	285,600,000		
物件費	実績	652,198,099	630,102,415	42,924,874	光熱費の高騰等に伴う増
	計画	609,273,225	615,952,006		
その他事業費 （自主事業支出）	実績	7,276,768	7,712,751	-457,350	設備設置サービスの利用が計画時の見込みを下回り、委託料や人件費が減少したことによる減
	計画	7,734,118	6,468,953		
合計	実績	984,542,437	928,085,528	75,935,094	
	計画	908,607,343	908,020,959		

令和 6 年度 指定管理者年度評価シート

4 管理運営状況の評価（１次評価）

（１）成果指標の達成

評価項目	達成率	評価	特記事項
利用者満足度95%以上	102.2%	B	—
施設稼働率75%以上	81.2%	C	達成率としては目標達成に至らなかったものの、利用人数は前年度よりも13,000人以上の増となっており、一定の評価ができる。 なお、利用者ニーズを踏まえた見直しにより、令和 7 年10月にはパソコン実習室を研修室へと変更する予定であり、稼働率の向上が期待できる。

（２）管理経費の縮減

市費の縮減に係る取組状況	評価	特記事項
事業に関しては、民間人材の能力やネットワークを効率的に活用して、効果的な事業展開が図られており、事業内容に於いて的確に受益者負担を求め、適切な事業を展開している。 施設管理業務については、故障や事故、大規模な改修等を未然に防止する観点から、こまめな補修や点検作業等を行っており、結果的には市費の縮減効果に繋がっている。	B	市費に頼った事業展開だけでなく、受益者負担も行い、大阪市の産業の発展と地域経済の活性化に寄与した。

（３）管理運営の履行状況

評価項目	評価	特記事項
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営	A	突発的な案件についても速やかな対応・報告が実施できていた。
事業計画の実施状況	A	・いずれの項目も目標値を上回る実績があげられており、創業・起業件数および支援企業におけるマッチング件数は前年度以上の実績となった。 ・中小企業支援事業において、当日アンケート等を通じてサービス向上に取り組んでいた。
施設の有効利用	B	—
社会的責任・市の施策との整合性	B	—

5 利用者ニーズ・満足度等

大阪産業創造館において実施されたセミナー等のプログラム参加者に対し、満足度アンケートを実施し品質向上やニーズの確認を行った。 満足度については、「満足」「大変満足」の合計が95.7%であった。

令和6年度 指定管理者年度評価シート

6 外部専門家意見

- ・施設稼働率については、より実態を踏まえた目標設定とするよう検討されたい。
- ・利用率、利用者数ともに前年度より増となっているので、引き続き利用者の利便性向上に取り組んでいただきたい。
- ・収支については、指定管理者に無理な負担が生じないよう努めていただきたい。
- ・中小企業支援事業については、引き続き新規利用者を増やす取り組みを進めてほしい。
- ・大阪の中小企業は技術力のある優れた企業が多いので、万博後も海外とのつながりを維持し、地域の活性化につなげていただきたい。

7 最終評価

評価項目	評価	所見
成果指標の達成	B	・施設利用の満足度については、本市が求める水準を超える満足度を達成している。 ・施設稼働率については、毎年度徐々に改善されてきており、今後も利用者ニーズを踏まえた見直しによって、さらなる改善が期待できる。
市費の縮減	B	・施設管理運営については、定期的な点検やこまめな補修を行うことによって故障や事故等を未然に防ぐなど、適正な維持管理を行うことで、結果的に市費の縮減につながっている。 ・中小企業支援事業については、事業内容に応じた確に受益者負担を求め、適切に事業を展開している。
管理運営の履行状況	B+	・施設管理運営については、事業計画どおりに行われており、突発的な案件についても適正な処置がなされていた。 ・中小企業支援事業については、利用者のサービス向上に取り組むことなどで、目標値を上回る実績を得ている。
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営		
事業計画の実施状況		
施設の有効利用		
社会的責任・市の施策との整合性		
総合評価	B	施設管理、中小企業支援事業ともに、適正に管理運営されている。